

学校名 小坂町立小坂小学校
所在地 岐阜県益田郡小坂町小坂町 1 0 2 0
電話 0 5 7 6 - 6 2 - 2 7 2 4

1. 本校の概要

小坂町は、飛騨地方南部、飛騨川と小坂川の合流点に開け、緑と清流に恵まれた環境にある。本校の児童たちは、このような自然豊かな風土と人情深く連帯感の強い町の人たちの中で育ち、明るく前向きな学習姿勢や、仲間と共に高まろうとする態度が育ってきている。

2. 本校の実践の概要

(1) 本校の実践の特色

小坂町では心豊かな児童生徒を育成する4本柱の一つとして、「読書活動の推進」をあげている。これを受け、本校では平成8年度より、「読書の楽しさを味わせると共に情報収集の場として、図書館を利用できるようにする」ことを目標に図書館整備6ヵ年計画を立て、計画的に図書館経営を進めてきた。今年度はその6年目にあたり、読みたい本や資料を探しやすい環境整備と利用指導の充実を目指し、特に次の3点に力を入れてきた。

各教科や総合的な学習の時間と結び付けた学習環境の整備

- ・素早い情報検索に対応できるピコパコ室（パソコン室）との併用
- ・国語で学習した題材やその発展教材としての図書資料コーナーの設置
- ・学習に即した教室用図書ボックスの活用
- ・郷土資料を集めた地域コーナーの設置
委員会活動の工夫
- ・図書館まつりの企画・運営
- ・読書郵便屋さんの実施
- ・読書クイズオリエンテーリングの実施
- ・縦割り班による読み聞かせの実施
日常生活の中での読書活動の充実

- ・朝読書の位置付け
- ・ボランティアによる読み聞かせの実施
- ・高学年による休み時間を利用した読み聞かせ

(2) 家庭との連携、地域との連携

地域の方にも学校の図書館を利用していただけるよう図書館を開放をしている。保護者の方が図書館の本を借りたり、読み聞かせを家庭で行ったりするなど、学校が備えている教育的な機能を地域の方々へ積極的に開放することを意図している。

地域ボランティアの方々による読みかせの会の実施

- ・毎月1回、「糸でんわの会」の方々による読み聞かせの会の位置付け



図書館ボランティアの活用

- ・毎月15日、保護者のボランティアの方による図書及び環境整備
長期休業を利用した親子読書の推進

3. 成果と今後の課題

- (1) 年間の読書量が大幅に増加し、一人平均32冊に達した。
- (2) パソコンによる情報収集やコーナー及び図書館ボックスによる調べ学習など目的意識をもった読書活動がなされ、図書館が学習センターの機能を果たすようになってきた。
- (3) 図書館の地域開放により、長期休業中など親子で来館する方々が増えた。
- (4) 他地域とのデータベースのネットワーク化を推進するとともに、それに即応したレファレンスを充実していく必要がある。

